



Human

2019年3月期 決算説明資料

2019年5月15日

ヒューマンホールディングス株式会社

(証券コード：2415)

1. 連結決算概要 -エグゼクティブサマリー-

➤ 連結売上高	84,313百万円	前年同期比 +7.0%
➤ 連結営業利益	2,111百万円	前年同期比 +11.4%
➤ 親会社株主に帰属する当期純利益	1,217百万円	前年同期比 +7.7%

○連結売上高は **7期連続 増収**

○連結営業利益は **4期ぶりに2桁の増益率**

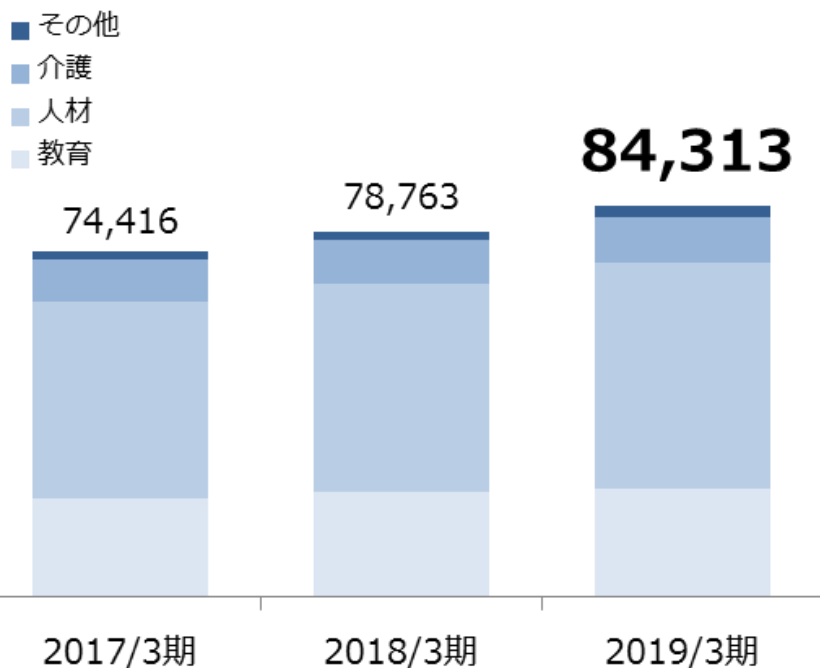
○配当は22.5円となり期初予想比+3.5円の**増配**

- ・売上面では、特に人材関連事業において、**グローバルITエンジニア、RPA**など幅広い分野で**契約数が好調に推移し増収**。
- ・利益面では、特に介護セグメントにおいて、**増収**や**適正人員配置**の取り組みなどにより**増益**。

1. 連結決算概要 - セグメント別増減要因（連結売上高） -

連結売上高推移

(単位：百万円)



連結売上高 84,313百万円 前年同期比+**7.0%**

人材セグメント (48,503百万円 前年同期比+8.4%)

コンストラクション領域を中心に稼働スタッフ数が増加
※グローバルITエンジニアの稼働スタッフ数、RPAの
契約数も順調に伸長

教育セグメント (23,435百万円 前年同期比+3.7%)

留学生向けの日本語学校を運営する国際人教育事業、
児童向けのロボット教室を運営する児童教育事業が
引き続き好調に推移

介護セグメント (9,914百万円 前年同期比+4.0%)

地域密着型サービス「グループホーム」「小規模多機能」
の利用者が増加

その他セグメント (2,458百万円 前年同期比+32.2%)

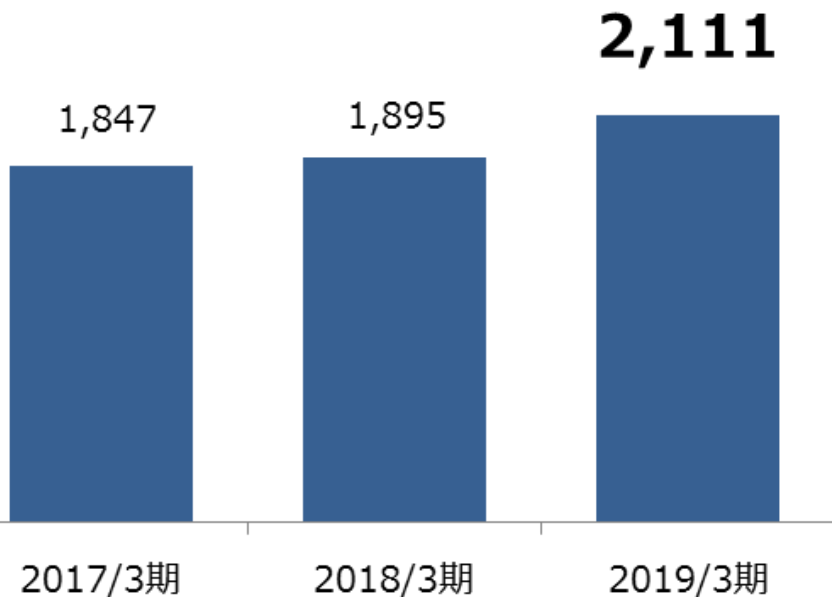
2017年4月に連結子会社を通じてM&Aを実施した
(株)ウェブスマイルが連結対象となり増収

1. 連結決算概要

- セグメント別増減要因（連結営業利益） -

連結営業利益推移

(単位：百万円)



連結営業利益 2,111百万円 前年同期比+**11.4%**

人材セグメント (615百万円 前年同期比 ▲2.6%)

売上高は増加となるものの、将来に向けた投資として、TVCMなどの広告宣伝費用、システム費用などが増加し減益

教育セグメント (990百万円 前年同期比 ▲11.4%)

TVCMなどの広告宣伝費用、運営体制強化に伴う人件費が増加したことなどにより減益

介護セグメント (410百万円 前年同期比 +430百万円)

売上高の増加に加えて適正人員配置による運営の効率化、機能訓練加算取得による単価の向上など、各種施策が順調に進んだことにより大幅増益

その他セグメント (▲38百万円 前年同期比 ▲86百万円)

IT事業の組織体制強化に伴う経費増などにより減益

2.連結決算予想 -エグゼクティブサマリー-

➤ 連結売上高	89,909百万円	前年同期比 +6.6%
➤ 連結営業利益	2,283百万円	前年同期比 +8.2%
➤ 親会社株主に帰属する当期純利益	1,291百万円	前年同期比 +6.0%

- ・ 売上面では、特に人材関連事業において、前期までに採用したグローバルITエンジニアが順次就労開始となり**増収**の見込み。
- ・ 利益面では、人材関連事業における、単価の高いグローバルITエンジニアの稼働者増、RPAでの契約数増に加え、IT事業の損益黒字化が寄与し、**増益**の見込み。（前期のIT事業の営業損失は86百万円）